

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設 ~~(有害物質貯蔵指定施設)~~ 設置 ~~(使用、変更)~~ 届出書

○年 ○月 ○日

下関市長 殿

該当する部分以外は二重線で消す

届出者 〒751-0847  
下関市古屋町一丁目18番1号  
株式会社下関  
代表取締役 環境 太郎

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)~~の規定により、特定施設 ~~(有害物質貯蔵指定施設)~~ について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		株式会社下関 下関工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		下関市古屋町一丁目18番1号	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	65. 酸又はアルカリによる表面処理施設 1基	水質汚濁防止法施行令別表第1の特定施設の番号と特定施設名称と基数を記入	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	今回届出を行う特定施設で有害物質を使用する場合は有にレを記入	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
  - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
  - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
  - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 6 排水水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
  - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

## 別紙1

## 特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1表面処理施設	工場で使用している番号、名称を記入
特定施設号番号及び名称	65. 酸又はアルカリによる表面処理施設	水質汚濁防止法施行令別表第1の特定施設の番号と特定施設名称を記入
型式	〇〇社製 2槽式 〇〇型	
構造	鉄鋼製（内部をビニルライニングで被覆） 構造図は別紙〇のとおり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材質等を記入</li> <li>・別紙で構造図を添付</li> </ul>
主要寸法	槽寸法 幅3000×奥行2000×高さ1000 (mm)	
能力	ねじ 3000個/日	
配置	A工場1階 配置は別紙〇のとおり	工場内のどの場所に特定施設が配置されているか分かる図面を添付
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床面は厚さ100mmのコンクリートで耐薬品性樹脂を塗装</li> <li>・周囲は防液堤構造で、容量は100L</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害物質使用特定施設に該当する場合に記入</li> <li>・特定施設を設置している床面、周囲の構造等について記入</li> </ul>

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

## 特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	No. 1表面処理施設	工場で使用している番号、名称を記入
特定施設号番号及び名称	65. 酸又はアルカリによる表面処理施設	水質汚濁防止法施行令別表第 1 の特定施設の番号と特定施設名称を記入
設 備	地上配管、排水溝、ためます	施設に付帯する配管等、排水溝等の設備の名称を記入
構 造	地上配管：ステンレス製 排水溝、ためます：コンクリート製、厚さ50mm	設備の材質を記載するとともに、検知設備を有する場合はその旨を記入
主 要 寸 法	地上配管：直径100mm×30m 排水溝： 幅300mm×深さ200mm×10m ためます：500mm×500mm×400mm	
配 置	A工場1階 配置は別紙○のとおり	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

## 特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1表面処理施設		工場で使用している番号、名称を記入	
特定施設号番号及び名称	65. 酸又はアルカリによる表面処理施設		水質汚濁防止法施行令別表第 1 の特定施設の番号と特定施設名称を記入	
設置場所	A工場1階 配置は別紙〇のとおり			
操業の系統	別紙〇のとおり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定施設を含む操業の系統（フローシート）を記入</li> <li>・ 工場の生産工程を原料から出荷まで特定施設の排水の発生源を含め記入</li> <li>・ この欄に記入できない場合は別紙に記入</li> </ul>	
使用時間間隔	9：00～17：00			
1日当たりの使用時間	8時間			
使用の季節的変動	変動あり 夏期（7月～9月）：休止 夏期以外（10月～6月）：稼動		変動ありの場合は具体的に記入	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	青酸ソーダ：〇kg/日 硫酸：〇kg/日 塩化ニッケル：〇kg/日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定施設を含む作業工程において使用する原材料（消耗資材を含む）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量について記入</li> <li>・ 特に有害物質に係るものについては、できるだけ詳細に記入</li> </ul>	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定施設の使用時に当該特定施設から排出される汚水又は廃液について記入</li> <li>・ pH、COD、SS、大腸菌群数、n-ヘキサン、全窒素、全りんについては、必ず記入</li> <li>・ その他の項目については原材料、使用薬剤等から排出するおそれのあるものについて記入</li> <li>・ 「pH」については、通常値はポイントで、最大値はゾーンで記入</li> <li>・ 「大腸菌群数」については、最大値のみ記入</li> </ul>
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	5	最大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 汚水等の量は当該特定施設から排出される汚水等の量を記入</li> </ul>
その他参考となるべき事項			排水せず産廃処理する場合等に記入	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	排水処理施設A		工場で使用している番号、名称を記入						
処理施設の設置場所	排水処理等1階 配置は別紙〇のとおり								
設置年月日	年 月 日		年 月 日						
工事着手予定年月日	〇年 〇月 〇日		年 月 日						
工事完成予定年月日	〇年 〇月 〇日		年 月 日						
使用開始予定年月日	〇年 〇月 〇日		年 月 日						
種類及び型式	合併処理浄化槽								
構造	FRP								
主要寸法	別紙〇のとおり								
能力	500m <sup>3</sup> /日		1日当たりの処理能力の最大値を記入						
処理の方式	活性汚泥法								
処理の系統	別紙〇のとおり		処理施設内で行われている汚水等の処理手順を別紙に記入						
集水及び導水の方法	別紙〇のとおり		汚水等の集水及び処理施設までの導水の方法について図で示す						
使用時間間隔	24時間稼動								
1日当たりの使用時間	24時間/日								
使用の季節変動	季節変動なし		変動ありの場合は具体的に記入						
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	次亜塩素酸カルシウム (〇kg/日)								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	7	7	6~8	7	・汚水等の処理施設の使用時における当該汚水等の処理施設による処理前及び処理後の汚水等汚染状態の通常値及び最大値を記入 ・種類、項目については別紙2の汚水等の汚染状態と同様の方法で記入			
	COD	10	5	50	5				
	BOD	15	5	70	5				
	SS	20	1	200	1				
	n-ヘキサン	<1	<1	10	<1				
	大腸菌群数	0	0	—	0				
	全窒素	10	5	20	5				
	全りん	5	2	10	2				
CN	2	<0.1	5	<0.1					
量(m <sup>3</sup> /日)	5	5	10	10					

残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥 0.1t/1ヶ月 1ヶ月毎に処分を業者に委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残さの種類毎に記入</li> <li>・処理の方法の概要について記入</li> </ul>
排出水の排出方法	N0.1排水口にて放流	
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

雨水専用排水口がある場合にも下記の  
No. 2 排水口のように記入

工場又は事業場における施設番号		No. 1排水口		No. 2排水口					
種類・項目	通	常	最	大	通	常	最	大	
	排出水の汚染状態	pH	7	7	7	7	雨水専用排水口		
	COD	5	5	5					
	BOD	5	5	5					
	SS	1	1	1					
	n-ヘキサン	<1	<1	<1					
	大腸菌群数	0	0	0					
	全窒素	5	5	5					
	全りん	2	2	2					
	CN	<0.1	<0.1	<0.1					
排水の量 (m <sup>3</sup> /日)	通	常	最	大	通	常	最	大	
	5	10	—	—	—	—	—	—	
その他参考となるべき事項	稗田川に排出								

- ・ 河川に排出する場合は、河川名を記入
- ・ 側溝を通して公共用水域に水を排出する場合は、「側溝を通じて稗田側に放流」のように記入

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場について記載すること。

別紙5

1日当たりの最大排水量が50m<sup>3</sup>を超える場合、別紙5の提出を行う必要あり  
 ※最大排水量が10 m<sup>3</sup>で記入例を作成していますが、本来であれば、最大排水量が10 m<sup>3</sup>であれば別紙5の提出は必要なし

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

CODの他にN、Pについても別紙5を提出する必要あり

		指定項目の別		COD					※		
業種 その他の 区分	汚染状態 (mg/L)	水 量 (m <sup>3</sup> /日)						汚濁負荷量 (kg/日)			
		通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj	通常		最大
特定 排水 水	201 電気め っき業	5	5	5	10			5	0.025	0.05	汚濁負荷量の算出方法 ・通常 = (通常汚染状態) × (通常水量) × 10 <sup>-3</sup> ・最大 = (通常汚染状態) × (最大水量) × 10 <sup>-3</sup>
	合計	5	5	5	10			5	0.025	0.025	
特定 排水 水 以外 の 排 出 水	種類及 び用途	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合計							・特定排水水とは工場内の特定 施設から排出される水のこと ・特定排水水以外の排水水とは 一般的に汚濁負荷量が増加しな い水で、冷却水、ブロー水、水 漏れテスト用の水、排気洗浄水 等のこと			
そ の 他 の 参 考 事 項											

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
  - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
  - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
  - 4 リン含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
  - 5 ※印の欄には記載しないこと。

